

## 【理論心理学談話会】

テーマ	話題提供者	掲載誌(発行年)	頁
理論心理学談話会抄録			
—第1回— (1956.5.4-5 立教大学 世話係:安藤瑞夫)			
関係系と基準点の問題	盛永 四郎	第1-2合併号(1957)	2
生活心理学の諸問題	岡本 重雄	"	4
心理学における未来および過去の問題	松宮 周郎	"	8
—第2回— (1956.7.4 立教大学 世話係:安藤瑞夫)			
直観的印象の解析—数量的実験現象学	印東 太郎	第1-2合併号(1957)	11
精神病理学における了解心理学の発展	島崎 敏樹	"	13
教育心理学に於ける価値の問題	津留 宏	"	16
—第3回— (1957.10.17 九州大学労働科学研究所 世話係:船津孝行)			
1940年以降のアメリカ社会心理学の底にあるもの	安倍 淳吉	第3-7合併号(1962)	1
クレッチマーの体質理論とその後の発展	相場 均	"	2
—第4回— (1958.7.14 慶應義塾大学日吉校舎 世話係:宇野善康)			
意識の心理生理学	佐久間 鼎	第3-7合併号(1962)	4
意識障害の生理学的基礎	笠松 章	"	5
—第5回— (1959.7.22 北海道大学教育学部 司会:奥田三郎 世話係:狩野陽)			
脳幹網様体をめぐる諸問題	藤森 間一	第3-7合併号(1962)	6
心理学における価値の問題	城戸 幡太郎	"	6
—第6回— (1960.7.17 東京大学教育学部 司会:依田新・世話係:肥田野直)			
心理的素質をどう考えるか	訖摩 武俊	第3-7合併号(1962)	8
人間関係の理論に関する問題	松村 康平	"	9
—第7回— (1961.10.19 名古屋大学教育学部 世話係:近藤貞次)			
二分法的分析態度と類型論	後藤 金十郎	第3-7合併号(1962)	10
了解における客観性の問題—ボルノウを中心として	千葉 胤成	"	10
理論心理学会会報			
—第8回— (1962.7.12-13 芦屋市六麓荘町光明会本部 司会:倉石精一 世話係:佐藤幸治・高瀬常男)			
仏教思想に関して	水谷 一雄	第8-11合併号(1966)	3
光明主義について	能見 寿作		
拙速と巧遅	芋坂 良二		
—第9回— (1963.7.14 東京教育大学 世話係:岩原信九郎)			
再び気について	千葉 胤成	第8-11合併号(1966)	6

## 【理論心理学会】

テーマ	話題提供者	掲載誌(発行年)	頁
理論心理学会会報			
—第10回— (1965.3.27 日本大学 司会:木村禎司 世話係:児玉齊二)			
グループダイナミクスについて	伊藤 安二	第8-11合併号(1966)	8
創造性について	恩田 彰	"	10
心理学の対象と体系性の問題	千葉 胤成	"	12
—第11回— (1965.8.25 東洋大学 世話係:恩田彰)			
心理学言語的意味の分析	田中 靖政	第8-11合併号(1966)	14
インド思想の心理について	王城 康四郎	第8-11合併号(1966)	15
機能的行動の原理	佐久間 鼎		
—第12回— (1966.8.25 於:立教大学 世話係:鈴木正弥)			

筆跡心理学における直接認識と間接認識	黒田 正典	第12-15合併号(1970)	2
ポテンシャル壁を有する色覚モデル	宗宮 保	"	5
思考過程のシミュレーション	印東 太郎	"	8
—————第13回—————(1967.5.5 立教大学	世話係:早坂泰次郎)		
思考過程のシミュレーション	印東 太郎		
精神医学・心理学における「現象学派」の意義	谷口 隆之助	第12-15合併号(1970)	11
—————第14回—————(1968.8.16 立教大学	世話係:早坂泰次郎)		
心理検査の問題点	岩脇 三良	第12-15合併号(1970)	13
条件性情動反応と情動研究法に関する2~3の考察について	平井 久	"	17
—————第15回—————(1969.9.23 立教大学	世話係:早坂泰次郎)		
「ヘモグラム」と「パーソナリティ」	糟谷 伊佐久	第12-15合併号(1970)	18
心理学と因果律の問題	秋重 義治	"	22
—————第16回—————(1970.12.12 立教大学	世話係:早坂泰次郎)		
意識の問題	戸川 行男	第16号(1971)	2
臨床心理学の本質をめぐって	渡部 淳	"	8
—————第17回—————(1971.12.4 立教大学	世話係:早坂泰次郎)		
人間科学—とくに意識について—	筒井 建雄	第17号(1972)	1
認知と人間関係	田中 一彦	"	6
—————第18回—————(1972.12.2 立教大学	世話係:早坂泰次郎)		
Sensitivity Trainingについて	早坂 泰次郎	第18-20合併号(1975)	1
—————第19回—————(1973.10.22 立教大学	世話係:早坂泰次郎)		
神話の心理学	木村 禎司	第18-20合併号(1975)	4
心理学と人間	結城 錦一	"	5
—————第20回—————(1974.11.30 立教大学	世話係:早坂泰次郎)		
芸術の心理学的理論	桜林 仁	第18-20合併号(1975)	7
一射殺魔の夢—心理学における自由と原因の問題—	黒田 正典	"	12

テーマ	話題提供者	掲載誌(発行年)	頁
—第21回— (1975)		理論心理学会会報	
[シンポジウム]:現代心理学における理論心理学の課題			
哲学的心理学は可能か?—ピアジェの現象学批判を中心に	児玉 齊二	第21号(1976)	1
現代心理学における理論心理学の課題	江川 玫成	"	5
[個人発表]			
心理学における仮説構成に関する考察(1)	江川 玫成	第21号(1976)	9
創造性研究の課題	恩田 彰	"	13
知覚—運動の問題	長谷川 啓三	"	17
社会心理の存在構造	田中 一彦	"	21
InteractionとTransaction(2)	畠中 宗一	"	25

### 【日本理論心理学会】

テーマ	話題提供・発表者	掲載誌(発行年)	頁
		日本理論心理学会年報	
—————第22回大会————— (1976)			
[シンポジウム]:私と理論心理学			
私と理論心理学	秋重 義治	第22-23合併号(1978)	1
私と理論心理学	後藤 金十郎	"	5
科学観変革の必要性について—科学的心理学形成のために	筒井 健雄	"	8
[個人発表]			
学習理論に関する科学認識論的考察(1)	江川 玫成	第22-23合併号(1978)	12
Piaget批判からPiaget理解へ	赤須 知明	"	
	長谷川 啓三	"	16
自己と役割	佐藤 俊一	"	23
Merleau-Ponty, M.の身体論	石井 秀夫	"	27
—————第23回大会————— (1977)			
[シンポジウム]:方法論としての行動科学			

行動科学の多様と統合	犬田 充	第22-23合併号(1978)	32
行動科学の方法	後藤 金十郎	"	35
データ処理の一考察	穂山 貞登	"	39
[個人発表]			
フッサールの現象学的心理学について	木村 禎司	第22-23合併号(1978)	43
知覚-運動の問題(2)	長谷川 啓三	"	47
生活世界と生活システム	井下 理	"	51
学習理論に関する科学認識論考察(2)	江川 玟成	"	55
—————第24回大会————— (1978)			
[シンポジウム]: 人間理解と行動主義			
人間理解と徹底的行動主義	佐藤 方哉	第24-25合併号(1980)	1
現象学の立場から	早坂 泰次郎	"	5
人間理解と行動主義 — ヒューマニスティック心理学の立場から	上田 吉一	"	9
[個人発表]			
行動及びその変化について— 相対論的考察	皆川 順	第24-25合併号(1980)	12
人間理解についての点晴	西村 貫一	"	16
行動主義理論と認知主義理論 — 教授法の比較	永沢 幸七	"	20
知覚-運動の問題(3)	長谷川 啓三	"	24
—————第25回大会————— (1979)			
[シンポジウム]: 現代心理学百年の歩みと展望			
ゲシュタルト心理学と行動主義	戸川 行男	第24-25合併号(1980)	31
G. W. オルポートとアメリカ心理学	星野 命	"	32
西周と日本の心理学	児玉 齊二	"	34
司会者としての所感	黒田 正典	"	36
[個人発表]			
心理学における実証の概念について			
— 認知の検証可能性の根拠づけ —	江川 成	第24-25合併号(1980)	38
マックス・ウェーバーにおける『客観性』の構造	石井 秀夫	"	40
行動傾向の決定における他者の評価の役割について	皆川 順	"	42
活動と人格 — 人格の活動心理学的アプローチ(3)	百合草 禎二	"	44
人間科学から見たFocusing	筒井 健雄	"	45
—————第26回大会————— (1980)			
[ディスカッション・セッション]: 心理学における“主観的”と“客観的”			
心理学における“主観的”と“客観的”			
— その用法と方法論的批判 —	江川 玟成	第26-27合併号(1982)	2
客観としての主観			
— 認識経験におけるprivateとpublic —	早坂 泰次郎	"	4
主観性と客観性の対立と一体化	恩田 彰	"	7
司会者としての所感	児玉 齊二	"	9
—————第27回大会————— (1981)			
[シンポジウム]: 日本文化と心理学			
日本文化と「心理学」			
— 明治前期における受容と形成 —	安倍 淳吉	第26-27合併号(1982)	12
まなざしの日本文化			
— 「視線の作法」へのアプローチをめぐって —	井上 忠司	"	14
“近親相姦”日・米版 — 臨床社会心理学の立場から	佐藤 悦子	"	16
司会者としての所感	早坂 泰次郎	"	18
—————第28回大会————— (1982)			
[シンポジウム]: 認知心理学と行動主義的心理学との対立をめぐって			
司会	江川 玟成	第28-29合併号(1984)	2
認知心理学と行動主義的心理学との対立をめぐって			
— 認知心理学の展開 —	巖島 行雄	"	2
行動分析から見た認知心理学への批判	佐藤 方哉	"	4
心理学における認知と行動	藤野 武	"	4
—————第29回大会————— (1983.11.3 YMCA アジア青少年センター 大会委員長: 早坂 泰次郎)			
[シンポジウム]: 人間と身体			

司会	早坂 泰次郎	第28-29合併号(1984)	8
援助関係における身体性の問題	高崎 絹子	"	9
身体運動技能の伝達方法とその空間性	大沼 徹	"	10
身振り、身のこなし			
—運動発達障害児の療育に当って考えさせられたこと—	高橋 孝文	"	14
[個人発表]			
発達モデルの全体性	浜畑 紀	第29回大会(発表要旨集)	9
校内暴力の本質について	皆川 順	"	11
基礎づけとしての身体	柳沢 孝主	"	13
心理学の基礎科学としての生物学	中沢 和子	"	15
科学的存在感から見たクライアント中心療法	筒井 健雄	"	17
—————第30回大会—————(1984.11.11 立教大学 大会委員長:早坂 泰次郎)			
[シンポジウム]:ことばと意味		日本理論心理学会年報	
司会	黒田 正典	第30-31合併号(1986)	2
ことばの意味とは何か	鈴木 孝夫	"	2
禅のことばが示すもの	恩田 彰	"	2
心理学は翻訳できるか?	児玉 斉二	"	4
[個人発表]			
ミニカウンセリングの効用について	筒井 健雄	"	6
唯識心理学的—考察	阿部 洋子	"	7
ケースワーク関係と身体性の問題	柳沢 孝主	"	9
知覚野の分節化と行動	鈴木 尤	"	13
共感の存在論的基盤	守屋 淳	"	15
—————第31回大会—————(1985.11.10 文京女子短期大学 )			
[シンポジウム]:ハイテクノロジー社会と人間			
司会	小川 芳男	第30-31合併号(1986)	18
医学と超音波	小林 充尚	"	19
ME技術革新と企業現場で働く人たち	依田 久男	"	19
疎外としての“テクノストレス”	早坂 泰次郎	"	20
[個人発表]			
パーソナリティ認知における恒常性についての			
実験をとしての一試論	皆川 順	第30-31合併号(1986)	21
発達モデルの創造過程解明への適応	濱畑 紀	"	24
動機づけに関する理論的考察			
—「適度な挑戦」をめぐる諸研究について—	小川 隆章	"	29
象徴機能の発生的契機 —二次系行動の成立条件について	中島 巖	"	32
明治前半期における心理学受容・形成過程の研究			
—西村茂樹を中心にして—	安倍 淳吉	"	35
—————第32回大会—————(1986)			
[シンポジウム]:心理学と現象学—日常生活からの展開—			
現象学が心理学に与える衝撃の性質:司会の開始に当り	黒田 正典	第32号(1987)	2
臨床の視点から	早坂 泰次郎	"	3
看護と日常性	村井 静子	"	6
創造性の観点	恩田 彰	"	7
組織論の問題点	足立 叡	"	9
フッサールの現象学的心理学	加藤 登之男	"	10
[個人発表]			
達成動機の三次元説			
—個人的達成欲求・社会的達成欲求・成功欲求の側面から—	堀野 緑	第32号(1987)	12
「発達」概念の再検討 —状況概念としての問題点を中心に—	小林 勝年	"	14
対人関係としての身体	守屋 淳	"	17
体験時間の心理学			
—idiomodific学としての方法論的基礎づけをめざして—	山本 恵一	"	20
変性意識研究の動向	松岡 和生	"	23
自己・他者認知における基準の問題についての			
個別データによる—考察	皆川 順	"	24
明治前半期における心理学受容・形成過程の研究			

—とくに国立教育制度の展開との関連を中心にして—	安倍 淳吉	〃	27
—————第33回大会—————(1987)			
[シンポジウム]: 人間理解における個の問題			
その認識論的構造の解析			
—“人間理解における個の問題”の司会者として—	黒田 正典	第33号(1988)	2
人間理解における個の問題 —人間主義心理学の立場から—	上田 吉一	〃	3
個人の理解について	北村 晴朗	〃	5
人間研究の課題をめぐって —環境における人—	内山 道明	〃	6
人間理解における個の問題	安倍 淳吉	〃	8
[個人発表]			
幼児期と青年期の世界観の形成について	濱畑 紀	第33号(1988)	10
唯識心理学的—考察(2)	安部 洋子	〃	11
不適応の形成過程についての一考察	皆川 順	〃	13
人間主義的心理学における“そこ”の問題	黒田 正典	〃	14
明治前半期の心理学受容・形成過程の研究(6)			
—とくに西周の明治期以後の展開を中心にして—	安倍 淳吉	〃	15
—————第34回大会—————(1988.11.23 立教大学 大会委員長:佐藤悦子)			
[シンポジウム]: 死の心理学			
司会者として	早坂 泰次郎	第34号	2
森田療法からみた死の心理	小川 芳男	〃	2
釈尊のターミナル・ステージに学ぶ	田宮 仁	〃	4
母を看取り、そして今	小林 重美	〃	5
[個人発表]			
行動の原因帰属についての一考察	黒田 正典	第34号	8
人間関係の病理としてのテクノストレス(その2)			
—「コンピュータ人間」の生きる世界—	皆川 順	〃	9
存在の見方における要素について	小川 憲治	〃	10
現代青年期女子の身体性の問題			
—痩せ願望とダイエットを手掛かりにして—	田中 ひな子	〃	13
—第35回大会— (1989.10.21 淑徳大学 大会委員長:足立勲)			
[シンポジウム]: 宗教と臨床			
司会者として	恩田 彰	第35回大会(発表要旨集)	7
呪術・宗教・科学技術	早坂 泰次郎	〃	8
生命倫理を牧会倫理	坂口 順次	〃	9
機法一体と自信教人信	上原 英正	〃	10
[個人発表]			
人間科学と宗教についての一考察	筒井 健雄	〃	2
教育現場における素朴心理学(naive psychology)の研究			
—参加観察法を中心として—	皆川 順	〃	3
単一事例実験と準実験			
—大理論としての実験計画法に代わる選択肢—	田中 潜次郎	〃	4
心にとっての間(あいだ)と境(さかい)	實川 幹朗	〃	5
「登校拒否」すなわち「情緒障害」の心理学・精神医学の			
従来理論と越生氏の「登校拒否児」への現象学的研究	濱中 善哉	〃	6
—第36回大会— (1990.12.1 共立大学 大会委員長:高嶋正士)			
[シンポジウム]: 心理学教育をめぐる諸問題			
心理学教育をめぐる諸問題(司会者の立場から)	大村 政男	第36回大会発表要旨集	9
一般心理学の立場から—心理学出身者の確立と科学的基準	田中 一彦	〃	10
教育心理学の立場から	高山 達雄	〃	
臨床心理学の立場から—操りの技術を捨てて深みの学へ	實川 幹朗	〃	12
[個人発表]			
「理論心理学」に関する基礎的一考察	濱中 善哉	〃	2
心理学の統一の可能性			
—三つの鼎立しがたい人間了解のタイプ—	渡辺 恒夫	〃	3
対話教育について	岡村 康代	〃	4
他者の意識の観察と記述	齋藤 幸一郎	〃	5
息と<構え>における受動性	齋藤 孝	〃	6

心そのものを見取るかまえとしての「こころほぐし」 明治前半期における心理学受容形成過程の研究(9) —とくに中央と地方(3)福島県を中心にして —第37回大会— (1991.10.19 防衛医科大学校 大会委員長:小川芳男)	實川 幹朗	〃	7
[シンポジウム] 講演:心理学理論—心理学の理論構成の史的発展と現状	K. B. マッセン	第37回大会発表要旨集 第37回大会講演資料	5 1-20
心理学の西欧的・ソビエト的・東洋的諸形態 [個人発表] 「理論心理学」に関する基礎的一考察 教師に求められる身体感覚 フォーカシングと曹洞禅(体験と考察) —第38回大会— (1992.11.14・15 姫路独協大学 大会委員長:實川幹朗)	黒田 正典 濱中 善哉 齋藤 孝 筒井 健雄	〃 〃 〃	5 2 3 4
[シンポジウム]:魂の心理学(司会:實川幹朗) 発題者 〃 〃 討論者 〃 〃	井上 亮 岩田 慶治 天上界 優心 加藤 清 横井 清		
[個人発表] 増田惟茂の「行動」概念について —『実験心理学序説前編』(1926, 大正15)第2章を中心に 対人関係における他者理解—臨床的実践の現象学的方法 心理学の哲学から哲学の心理学へ メタ認知に関する一報告 実践的行為としての「労働」についての一考察 誌上発表:死後の世界は如何して発生するか —————第39回大会—————(1993.11.27・28 千葉経済大学 大会委員長:大沼徹)	鈴木 祐子 小野 浩考 渡辺 恒夫 金子 嘉延 芝 浩 筒井 健雄	日本理論心理学会年報 第35号(1993) 〃 〃 〃 〃 〃	2 4 6 8 12 10
[シンポジウム]:他者理解の心理学 身体運動技能の現象学的研究における他者理解 武道における他者理解 仏教からみた他者理解とは 解釈としての他者理解 —「わかる」と「見える」— [個人発表] メタサイエンスとしての世界観の心理学 —心理学の科学心理学のために— ピアジェ学派の学習論(1)—学習の定義と原理— 日本文化のIdiomodific 性格:政治改革への新観点 自然言語処理NPLの諸問題 看護における「身体」と「人体」としてのアプローチの差異の考 心理療法に於ける認識論的視点の必要性 ウィリアム・ジェームズの非力動的動機論 —意志心理学の方法と実践の試み— —————第40回大会—————(1994.11.26・27 広島大学教育学部 大会委員長:羽生)	大沼 徹 江川 玟成 高嶋 正士 早坂 泰次郎 渡辺 恒夫 羽入 義正 黒田 正典 須賀 哲夫 鈴木 正子 谷向 令至 田嶋 清一	第36号(1994) 〃 〃 〃 第36号(1994) 〃 〃 〃 〃 〃 〃	1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21
[シンポジウム]:心理学における説明、解釈、理解 司会者より 発達心理学の立場から 臨床心理学の立場から 実験心理学の立場から 科学論の立場から [個人発表] 自然言語処理NPLの諸問題(2)—意味の表現— 子供の独我論的体験 —他者理解発生論への一視角— 日本のコミュニケーションの様式について	渡辺 恒夫 麻生 武 小川 憲治 宮谷 真人 實川 幹朗 須賀 哲夫 渡辺 恒夫 谷向 令至	第37号(1995) 〃 〃 〃 〃 第37号(1995) 〃 〃	1 2 4 6 8 10 12 14

関係としての発達心理	守屋 淳	〃	16
方法論からのC.ロジャーズ理論の検討②			
—C.ロジャーズの方法論と現象学的方法論との差異—	神野 英明	〃	18
老人施設・老人病棟におけるサイコロジストとの役割	林 智一	〃	20
増田惟茂の心理学(3)			
—「意志作用の比較心理学的研究」(1908-09)をめぐって—	鈴木 祐子	〃	22
ピアジェ学派の学習論(2)			
—動物の感覚運動的学習におけるシェームの構成について—	羽入 義正	〃	24
—————第41回大会—————(1995.11.11・12 東京国際大学 大会委員長:青木伸)			
[シンポジウム]: 老いを生きる			
司会者より「老いを生きる——その受容と飛躍を求めて——」	山本 恵一	第38号(1996)	1
宗教的立場から「老いと宗教」	早坂 泰次郎	〃	2
社会福祉の立場から「老人の社会参加について」	荻原 康子	〃	2
生涯発達心理学の立場から	黒田 正典	〃	3
「老年学・老年心理学における自己実現モデル」			
医療の立場から「デイ・ケアを通して見た老人の生きざま」	佐藤 愛	〃	5
[個人発表]			
高齢者への心理臨床におけるエイジズムに関する展望	林 智一	第38号(1996)	7
心理臨床における「中立性」と「宗教」の問題	神野 英明	〃	9
ブーバーにおける「夢」と「現実の区別」	福井 雅彦	〃	11
意志心理学の系譜(セネカ・ジェームズ・アサジオリ・サルトル)	田嶋 清一	〃	13
大脳皮質を經由する反射 —急速反復書字法を中心として—	荒井 浩一	〃	15
自然言語処理NPLの諸問題(3) —文法の構成—	須賀 哲夫	〃	17
理論の本質と構築課程について	森正 義彦	〃	19
増田惟茂の心理学(5) —大正4~8年の研究をめぐって—	鈴木 祐子	〃	21
—————第42回大会—————(1996.11.15・16 常磐大学 大会委員長:斎藤幸一郎)			
[シンポジウム]: 人間科学における理論的特質			
東洋諸学への予感において —司会者の立場として—	黒田 正典	第39号(1997)	1
A.GorgeにおけるPsychology as aHuman Sscienceについて	山本 恵一	〃	3
人間科学における理論的特質 —科学認識論の観点から—	江川 玫成	〃	5
科学の本質を問う立場から	森本 義彦	〃	7
医療人間学の立場から —医療社会学から臨床人間科学へ—	上見 幸司	〃	9
[個人発表]			
摺みと認め —世界に向かう二つの構え—	實川 幹朗	第39号(1997)	11
心理学の根本課題 1996	渡辺 恒夫	〃	13
意志心理学の諸前提	田嶋 清一	〃	15
(その1. 意識の流れ, その2. 人間における或る盲目性について)			
Biorhythmの性質別機能	半澤 良昭	〃	17
増田惟茂の心理学(4 —明治期の実験心理学をめぐって—)	鈴木 祐子	〃	19
—第43回大会—(1997.11.22・23 東邦大学理学部習志野キャンパス 大会委員長:渡辺恒夫)			
[シンポジウム]: 心は脳か、コンピュータか、それとも…			
心は脳か、コンピュータか、それとも…			
—シンポジウムのため趣意書	渡辺 恒夫	第40号(1998)	1
新機能場の実現に向けて —心に迫る情報科学—	新田 徹	〃	3
心に迫る脳生理学	有田 秀穂	〃	5
L(brain≡mind)・M(brain≡computer) —相互モデル論の提議	須賀 哲夫	〃	7
クオリアと脳の情報処理	茂木 健一郎	〃	9
指定討論: 哲学者の見る、心・脳・コンピュータ問題	黒崎 政男	〃	11
[個人発表]			
急速反復書字法と焦点的注意	荒井 浩一	第40号(1998)	15
高齢者の心理臨床における Successful Aging に関する一考察			
—誰にとつての Succses?—	林 智一	〃	17
非決定論擁護 —N.ハルトマンの存在階層説からのメッセー	黒田 正典	〃	19
社会福祉援助技法における「主体変様の」問題	大月 和彦	〃	21
認知→動機づけメカニズムの理論的含蓄	森正 義彦	〃	23
ウイリアム・ジェイムズ研究 —根本的経験論の現代的意味	田嶋 清一	〃	25

ユング心理学における無意識と宗教観	青木 智子	〃	27
—————第44回大会—————(1998.11.21・22 信州大学教育学部 大会委員長:筒井健雄)			
[シンポジウム]:脳科学と心理臨床			
司会者の立場から	小川 芳男	第41号(1999)	2
脳と心の人格について	半田 智久	〃	4
我執(自我拘束)からの開放を促す内観のしくみ —自我の成り立ちをふまえての考察—	巽 信夫	〃	6
座禅による人格形成 —澤木 興道老師と横山 祖道老師—	柴田 誠光	〃	8
フォーカシングによる人格形成	筒井 健雄	〃	10
[個人発表]			
文学作品に見られるドッペルゲンガー —ゲーテ、ケルナー、ドストエフスキー、モーパッサン、遠藤周作—	宮崎 忠男	第41号(1999)	12
感情的になることの意味 —J・PサルトルとW・ジェームズ—	田嶋 清一	〃	14
「自己表現」論における固体主義的傾向とその問題	神野 英明	〃	16
心理療法の効果について	須賀 哲雄	〃	18
認知図・認知構造の形成と変容のメカニズム	森正 義彦	〃	20
非局所的相互作用なしに脳で心は作れないことの理論物理的	馬場 純雄	〃	22
心理学の哲学:序説	渡辺 恒夫	〃	24

テーマ	話題提供・発表者	掲載誌(発行年)	頁
—————第45回大会—————(1999.11.27・28 創価大学教育学部棟 大会委員長:)			
[シンポジウム]:心理学研究者の忘れ物			
—心理学研究における理論的営みの意義・課題・方法について			
心理学研究者の忘れ物・解説と論評			
—心理学研究における理論的営みの意義・課題・方法につ	森正 義彦	第2巻 第1号(2000)	1
心理学における理論の意義と効用:知覚的研究者の立場	大山 正	〃	15
心理学における理論をめぐって:理論心理学の可能性を求め	西川 泰夫	〃	23
心理学における理論構築を巡る問題について	岩崎 庸男	〃	33
心理学における理論と実証性	繁樹 算男	〃	39
[個人発表]			
幼児期における友人の好みの一貫性	上原 泉	第1巻 第1号(2000)	32
科学史に見る研究雑誌編集者の権威主義についての考察	須賀 哲夫	〃	34
人間の行動と進化論	小野 盛司	〃	36
唯情報論	中村 祐子	〃	38
新陳代謝における自己同一性保存の謎	馬場 純雄	〃	40
心理学の哲学(2) —操作的定義の再検討—	渡辺 恒夫	〃	42
日本の科学的心理学(明治~昭和初期)における方法論の展開			
—「認識論的枠組」の受容と展開を中心に—	鈴木 祐子	〃	44
人間理解の方法論的基礎としての「現象学的記述」	神野 英明	〃	46
家族システムにおける「POWER」の検討			
—構造的家族療法の立場から—	甲斐 隆	〃	48
人間の<悪性>に関する社会心理学的考察			
—E.フロムの破壊性概念を中心として—	村澤 啓	〃	50
特殊人格形成理論と心理療法	筒井 健雄	〃	52
他者に援助的に関わるための知のあり方について	守屋 淳	〃	54
アサーショントレーニングとフォーカシングの共通性について			
—体験過程からの試論—	園田 雅代	〃	56
[講演]			
科学の特徴	吉田 夏彦	第2巻 第1号(2000)	46
—————第46回大会—————(2000.9.2・3 北海道大学文学部 大会委員長:西)			
[シンポジウム]:今あるような心理学はなぜそのようにあるのか			
—心理学史・心理学論から—			
シンポジウムの企画趣旨	西川 泰夫	第3巻 第1号(2001)	16
学部設立・資格設備時代の心理学を展望する	サトウ タツヤ	〃	18
臨床心理教育における心理学史の価値	大羽 葵	〃	20
今ある心理学はなぜそのようにあるのか			



<主に行動・学習理論の歴史から>	森正 義彦	”	22
[個人発表]			
教育心理学パラダイムをめぐる問題	足立 自朗	”	24
相互決定論の再検討と行動の機能			
—複雑適応系科学の視点から—	斎藤 富由起	”	25
学習性無力感に関する調査研究	服部 広正	”	26
対人援助理論における主体変様の性質の問題	神野 英明	”	28
家族システムにおける父親のパワーアップとIPの変化	甲斐 隆	”	30
虚運動体験と虚の世界の実存信仰との関係	筒井 健雄	”	32
日本の心理学史における神経概念			
—明治・大正期のバイオサイコロジー史から—	高砂 美樹	”	34
臨場教育学序論 第1/3報	吉野 貞慶	”	36
[講演]			
運動と空間 —故結城錦—教授の諸説をめぐって—	大山 正	”	39
—————第47回大会—————(2001.11.23・24 防衛医科大学 大会委員長:小川芳男)			
[シンポジウム]:心理学における価値の問題			
心理学における価値の問題 —企画・司会の立場から	小川 芳男	第4巻 第1号(2003)	14
心理学における価値の問題 —科学的心理学の立場から	江川 玖成	”	20
心理学における価値の問題 —心理学と哲学の対話を求めて	村田 純一	”	16
価値多様化社会における精神病理 —社会心理学の立場から	村澤 啓	”	18
福祉・看護領域における心理学と価値			
—福祉・看護心理学の立場から—	神野 英明	”	21
[個人発表]			
子どもの自己概念の発達過程に関する一考察			
—愛着理論を中心に—	李 和貞	”	22
心理現象の波動論的解釈	進藤 昌浩	”	24
心理学における因果関係の分析	繁梲 算男	”	26
臨場教育学序論 第2/3報 —生徒指導・進路指導と評価	吉野 貞慶	”	31
元良勇次郎の注意理論と現代の注意研究	大山 正	”	29
各種心理療法の理論的共通枠・試論			
—認知的動機づけの視点から—	森正 義彦	”	33
—————第48回大会—————(2002.11.16・17 上越教育大学 大会委員長:太田將勝)			
[シンポジウム I]:美術教育の今日的意義			
美術教育の今日的意義 —その在否を問う—	森正 義彦	第5巻 第1号(2003)	10
共生社会にむけての教育			
—美術と社会と教育の接点を探る美術教育—	阿部 靖子	”	12
美術教育の今日的意義 —その存否を問う			
—美術教育の果たす役割とその意義について—	臼井 一郎	”	14
視覚表現、象徴、伝達手段としての美術の教育			
—視覚心理学の立場から—	大山 正	”	16
造形芸術・美術は教科たりえるか	太田 將勝	”	18
美術教育と多重知能論	藤永 保	”	20
[シンポジウム II]:ターミナル・ケアの原点にたち帰って			
死の受容は可能か	黒岩 卓夫	”	24
死への対応 —森田療法の立場から—	小川 芳男	”	26
看取りの文化とその歴史 —医療史の立場から—	新村 拓	”	28
臨死患者の心理的諸問題 —とくに行動とその対応を中心に	高嶋 正士	”	30
生死を越えて —ビハラー僧(チャプレン)の立場から—	谷山 洋三	”	32
いつか人は死を受容するのだろうか・・・ —専門外の立場から—	門田 秀雄	”	34
[個人発表]			
臨場教育学序論 第3/3報 —発達課題と教育の場—	吉野 貞慶	”	36
2種類の因果性	繁梲 算男	”	38
ニュー・カウンセリングにおける「身体の客体性」と			
その理論的位置づけ	生方 薫	”	40
感情・情操に関する一試論			
—状況の次元分析による記述・分類—	羽生 義正	”	42
愛着表現を中心とした青年のパーソナリティの発達について	李 和貞	”	44

—————第49回大会—————(2003.11.5 東京国際大学早稲田サテライト 大会委員長:)

[シンポジウム]:わが国における精神分析の発達—受容と展開

わが国の心理学界における精神分析の受容	大山 正	第6巻 第1号(2005)	11
“阿闍世コンプレックス”をめぐる —その源泉を遡る	吉沢 頼雄	”	14
わが国の医学における精神分析の展開 —精神医学の立場から			
—精神医学の立場から—	狩野 力八郎	”	17
指定討論:受容における二つの位相	藤永 保	”	19
[個人発表]			
科学的心理学に求められるもの			
—質から量へ、量から質へ:構造と変換—	西川 泰夫	”	22
境界例と現代社会	村澤 啓	”	25
動機づけ理論理論への試論	森正 義彦	”	28
[講演]			
自己心理学の構想	榎本 博明	”	30

—————第50回大会—————(2004.11.6・7 東京大学駒場キャンパス 大会委員長:繁樹)

[シンポジウム]:日本発の理論を考える

企画・司会者の立場から	繁樹 算男	第7巻 第1号(2005)	1
理論的営みを盛んにするには	森正 義彦	”	4
日本発の理論を考える —先人の足跡をたずねて	大山 正	”	8
日本発の理論を考える —理論不毛の原因と今後の課題	江川 玫成	”	12
日本発の理論を考えるために			
—平凡な研究者がオリジナリティのある研究をするために—	無藤 隆	”	16
創造的研究の育成のために —創造的認知研究の立場から	鈴木 宏昭	”	20
[企画セッション]			
セッション1:意思決定の理論と実証(企画者:竹村和久)			
意思決定と測定 —表現法と現実性の観点からの一考察	吉野 諒三	”	24
評価荷重モデルによる選択時のパラメータ推定と			
選好逆転下のパラメータ変化の検出	山岸 侯彦	”	28
	国武 圭郎	”	28
囚人のジレンマゲームにおける意思決定と焦点化	藤井 聡	”	32
	竹村 和久	”	32
	吉川 肇子	”	36
系列的意思決定における文脈効果と早すぎる決定	繁樹 算男	”	36
	日野英一郎	”	36
一般対応法則と意思決定	竹村 和久	”	40
	藤井 聡	”	40
セッション2:認知行動療法の現在(企画者:橋口英俊)			
認知行動療法 —その成立の理論的基礎—	江川 玫成	”	45
認知行動療法と臨床心理学	丹野 義彦	”	49
社会心理学と認知行動療法	坂本 真士	”	53
認知行動療法の実際	伊藤 絵美	”	57
REBTの例から	橋口 英俊	”	61

[個人発表]

「経験」を変数化し解析対象にする—無数のスケジュールを		第7巻 第2号(2006)	
生成し膨大な時系列経験データを収集するための原理-	寺澤 孝文	掲載予定	
ヒトの脳皮質における不同期多重感覚刺激の統合処理			
—時間的変数の影響について—	ズ・シーロン	”	
	斉藤 泰彦	”	
解剖遺体見学実習は『命の大切さ』を教えられるか			
—質問紙を用いた探索的研究—	小沢 哲史	”	
	和田 節子	”	
知覚状態空間理論の提案	大山 正	”	
「行動」概念についての理論的考察(その1)			
—各種行動間の相互規定的関係について—	江川 玫成	”	
成人愛着の3カテゴリモデルと4カテゴリモデルの検討	李 和貞	”	
学級荒廃への対処事例の理論的検討	寶田 邦子	”	
乳幼児の記憶発達に関する考察	上原 泉	”	

真理の諸様式における真実の価値	生方 薫	〃
限定されたパターン認知の世界の研究 — パターン認知の変換構造説 —	今井 四郎	〃
〔講演〕		
Behavioural Genetics : What Use To Psychology?	Kerry L. Jang	第7巻 第1号(2005) 69
—————第51回大会—————	(2005.11.12・13 奈良女子大学文学部 大会委員長:麻生 武)	
〔シンポジウム〕:近代が“心”の学という“虚学”を生み出したのか?		第8巻 第1号(2005)
企画・司会者として	麻生 武	掲載予定
基調講演:「実証」の変遷と心理学の虚実		
—19世紀ヨーロッパの精神状況と「究極の科学」の誕生	實川 幹朗	〃
「新参者」としての意識 —発達心理学の立場から	浜田 寿美男	〃
フィールドの当事者との協同的実践に身をおく立場から	杉万 俊夫	〃
實川幹朗著『思想史のなかの臨床心理学』評		
—徂徠論・宣長論の視点から—	小路田 泰直	〃
〔個人発表〕		
臨場教育学提要 その1 —目的の共有	吉野 貞慶	〃
カウンセリングと共同体の問題 —犯罪被害者支援に関して	筒井 健雄	〃
大学生の父・母に対するアタッチメント表象と自己表象の関	李 和貞	〃
成因および多義的定義に基づく幾何学的錯視の分類体系	今井 四郎	〃
科学的発見とセレンディピティー —その具体例と促進条件	江川 玫成	〃
高次確率の規範性の吟味	繁樹 算男	〃
色彩調和理論をめぐって —理論と実証との関係	大山 正	〃







二郎 )





主義正)

多次)

森正義彦)

川泰夫)



詫摩武俊)

〔算男〕

式)